

心 理 学 科

心 理 学 科

平成26年度入学者対象（学生番号「1214・・・」）

<卒業に必要な単位数>

科目区分		単位数	
必修科目	専門教育科目	24	28単位
	外国語科目	4	
選択必修科目	専門教育科目	40	62単位以上
	共通教育科目	20	
	健康ｽﾎｰﾙ-ｯ科目	2	
選択科目	専門教育科目	34単位以上	
	共通教育科目		
	外国語科目		
	健康ｽﾎｰﾙ-ｯ科目		
	他学科開設科目		
	教職・資格関係科目		
合計		124単位以上	

心理学科

心理学科は、心理学領域に関する基礎的教育・研究を通じて、さまざまな観点から人間性についての理解を深めるとともに、実社会において活躍する能力を付与し、とりわけ心理的・社会的な適応に関して十分に理解し対応できる能力を身につけた女性の育成を目標としています。本学科では、認知心理学、社会心理学、発達心理学、臨床心理学の各領域に属する科目群を編成しています。認知心理学領域では、知覚・認知、記憶、学習、思考・言語、など人間の心の基礎的機能に関するメカニズムを追求し、実験的方法によって行動を理解する能力を育成します。社会心理学領域では、社会や文化という観点から、社会構造、人間関係、個人特性等の本質についての正しい理解を図り、社会的活動を行う能力を育成します。発達心理学領域では、胎児から始まる人間の心理的発達について学習し、発達のメカニズムの理解と発達援助を適切に行う能力を育成します。臨床心理学領域では、多様な社会生活から起こる人間の問題解決に役立つ知識と技能の修得を図り、実社会で活用することのできる能力を育成します。

発達心理学領域…人間の出生時よりの心理的発達についての学習を通じて発達のメカニズムの理解と発達援助を適切に行う能力を育成します。

社会心理学領域…社会や文化という観点から、社会構造、人間関係、個人特性等の本質についての正しい理解を図り、社会的活動をおこなう能力を育成します。

臨床心理学領域…多様な社会生活から起こる人間の問題解決に役立つ知識と技能の修得を図り、実社会で活用することのできる能力を育成します。

認知心理学領域…知覚・認知、記憶、学習、思考・言語、感情など人間のこころの基礎的機能に関するメカニズムを追求し、実験的方法によって行動を理解する能力を育成します。

※卒業必要単位数のうち、3年次終了までに、修得合計単位数が86単位数に満たない者は、4年次において「卒業見込証明書」は交付されません。

○必修科目

①基礎実験演習(1)

実験演習に必ず参加し、指示に従ってレポートを提出しなければなりません。

学年の初め、もしくは前年度の終了までにクラス分けを行いますので、掲示等に注意してください。

やむを得ない事情で単位の修得ができなかった場合は、学年の始めの所定の期間内に学科の指示を受けなければなりません。この手続きを行わないで履修しても単位の修得は認められません。

②心理学演習

履修前に予備登録を行います。受講者数の上限は、原則として各クラス20名までとします。

やむを得ない事情で単位の修得ができなかった場合は、次年度以降、学科の指示を受け履修しなければなりません。

③特殊研究

特殊研究は、卒業論文作成のため、学生各人の専攻となります。選定した研究テーマについての文献の選択と取り扱い、実験あるいは調査の計画・実施方法等に関して、助言・指導・批判を与えることにより、その成果を図る目的で設置された授業科目です。指導教員は、学科で決定します。

④卒業論文

学生は、卒業にあたって大学における学術研究の総まとめとして卒業論文を提出し、その評価を受けなければなりません。

この論文を作成することによって、初めて自分の学問領域を確立し、将来の進路の基盤を決定することになります。

この重要性を十分に理解し、積極的な研究と指導を受け、その成果を挙げることが大切です。

特殊研究と卒業論文は、同時に履修しなければなりません。

○選択必修科目

発達心理学領域、社会心理学領域、臨床心理学領域、認知心理学領域の科目履修のめやすについては、別ページの心理学カリキュラムチャートを参考にしてください。

①心理学の基礎的知識を幅広く学び、心理学のさまざまな研究方法を理解するために、以下の科目を指定の年次に従い早めに履修することが望ましい。

- ・基礎実験演習(2)
- ・実験心理学概論
- ・社会心理学概論
- ・発達心理学概論
- ・臨床心理学概論
- ・心理学研究法Ⅰ
- ・心理学研究法Ⅱ(1)(2)
- ・心理学研究法Ⅲ

②臨床心理学実習Ⅰ、特殊実験演習

臨床心理学領域履修者は、臨床心理学実習Ⅰを履修することが望ましい。また、発達心理学領域、社会心理学領域、認知心理学領域履修者は、特殊実験演習を履修することが望ましい。

臨床心理学実習Ⅰ、特殊実験演習の履修希望者は、2年次に行うガイダンスに必ず出席し、予備登録を行わなければなりません。

③臨床心理学実習Ⅱ

臨床心理学領域履修者のうち、専門職を目指す人のための科目です。そのため、他の実習科目等と開講時間が重複することがあります。

実習内容は、年度および履修人数により異なりますので、3年次に行うガイダンスに必ず出席してください。学外実習を行う場合は、夏期休業および冬期休業期間に行います。

○選択科目

・心理学科専門教育科目の選択必修科目、共通教育科目、外国語科目、健康スポーツ科目から34単位以上を修得しなければなりません。

(ただし、他学科開設科目、教職・資格関係科目を修得した場合は、その単位数を含めることができます。)

・教職課程履修者は、教職課程の教科に関する専門教育科目を含むので、心理学科専門教育科目一覧および教職課程の履修方法を参照し、履修してください。

専門教育科目一覧表（必修）

科目名	単位	期間	年次	教職	副専攻	他学科生への開放	備考
基礎ゼミナル	2	半期	1			×	予備登録科目 予備登録科目 予備登録科目
心理学概論	4	通年	1	○		×	
心理統計法(1)	2	半期	1			×	
基礎実験演習(1)	2	半期	2			×	
心理学演習	4	通年	3			×	
特殊研究	4	通年	4			×	
卒業論文	6	通年	4			×	

専門教育科目一覧表（選択必修）

科目名	単位	期間	年次	教職	副専攻	他学科生への開放	備考
心理統計法(2)	2	半期	1			×	40単位以上 予備登録科目 予備登録科目 予備登録科目
基礎実験演習(2) <i>分析と表現</i>	2	半期	2			×	
心理学研究法Ⅰ <i>実験法</i>	4	通年	2～4			×	
心理学研究法Ⅱ(1) <i>調査法</i>	2	半期	2～4			×	
心理学研究法Ⅱ(2) <i>調査法</i>	2	半期	2～4			×	
心理学研究法Ⅲ <i>心理査定法</i>	4	通年	2～4			×	
特殊実験演習	2	通年	3～4			×	
臨床心理学実習Ⅰ	2	通年	3～4			×	
臨床心理学実習Ⅱ	2	通年	4			×	
発達心理学概論	4	通年	2～4	○	生健	○	
社会心理学概論	4	通年	2～4	○		○	
臨床心理学概論	4	通年	2～4	○	生健	○	
実験心理学概論	4	通年	1～4	○		○	
発達心理学特殊講義Ⅰ	4	通年	3～4			×	
発達心理学特殊講義Ⅱ	4	通年	3～4			×	
社会心理学特殊講義Ⅰ	4	通年	3～4			×	
社会心理学特殊講義Ⅱ	4	通年	3～4			×	
臨床心理学特殊講義Ⅰ	4	通年	3～4			×	
臨床心理学特殊講義Ⅱ	4	通年	3～4			×	
実験心理学特殊講義Ⅰ	4	通年	3～4			×	
実験心理学特殊講義Ⅱ	4	通年	3～4			×	
児童心理学	4	通年	2～4	○		○	
コミュニケーション論	4	通年	2～4			○	
精神医学	4	通年	2～4		生健	○	
学習心理学	4	通年	2～4			○	
生理心理学	4	通年	2～4			○	
発達臨床心理学	4	通年	3～4	○	生健	○	
組織・集団心理学	4	通年	3～4	○		○	
カウンセリング特論	4	通年	3～4			×	
非行・犯罪心理学	4	通年	3～4	○		○	
認知心理学	4	通年	3～4	○		○	
心理情報処理Ⅰ <i>多変量解析</i>	2	通年	3～4			×	
心理情報処理Ⅱ <i>社会調査</i>	2	通年	3～4			×	

専門教育科目一覧表（選択）

科目名	単位	期間	年次	教職	副専攻	他学科生への開放	備考
日本史(1)	2	半期	1～3			○	
日本史(2)	2	半期	1～3			○	
世界史(1)	2	半期	1～3		地	○	
世界史(2)	2	半期	1～3		地	○	
地理学概論(1)	2	半期	2～3			○	
地理学概論(2)	2	半期	2～3		地	○	
日本・世界地誌(1)	2	半期	1～2			○	
日本・世界地誌(2)	2	半期	1～2			○	
法学概論(1)(国際法を含む)	2	半期	2～3	○		○	
法学概論(2)(国際法を含む)	2	半期	2～3	○		○	
政治学概論(1)(国際政治を含む)	2	半期	2～3	○		○	
政治学概論(2)(国際政治を含む)	2	半期	2～3	○		○	
社会学概論(1)	2	半期	2～3	○	地	○	
社会学概論(2)	2	半期	2～3	○	地	○	
経済学概論(1)(国際経済を含む)	2	半期	2～3	○		○	
経済学概論(2)(国際経済を含む)	2	半期	2～3	○		○	
哲学概論(1)	2	半期	2～3	○		○	
哲学概論(2)	2	半期	2～3	○		○	
倫理学(1)	2	半期	2～3	○		○	
倫理学(2)	2	半期	2～3	○		○	

注) 選択科目は、専門教育科目の選択必修科目及び選択科目、共通教育科目、外国語科目、健康スポーツ科目、他学科開設科目、教職・資格関係科目等から30単位以上修得しなければなりません。

<教職欄の見方>

○：「公民」の教科に関する科目

<副専攻欄の見方>

英：英語コース、日：日本語教員養成コース、女社：女性・社会コース、生健：生命・健康コース、芸：芸術コース、地：地域研究コースに関する科目

心理学科カリキュラムチャート

共通教育科目・外国語科目等 26単位

専門科目(必修) 24単位
 基礎ゼミナール 心理学概論 心理統計法(1) 基礎実験演習(1) 心理学演習 特殊研究 卒業論文

専門科目(選択必修) 40単位選択
 心理統計法(2) 基礎実験演習(2)
 心理学研究法Ⅰ(実験法) 心理学研究法Ⅱ(1)(2)(調査法) 心理学研究法Ⅲ(心理査定法)
 実験心理学概論 発達心理学概論 社会心理学概論 臨床心理学概論
 心理情報処理Ⅰ(多変量解析) 心理情報処理Ⅱ(社会調査)

臨床心理学領域	発達心理学領域	社会心理学領域	認知心理学領域
臨床心理学実習Ⅰ 臨床心理学実習Ⅱ (病院・施設実習) 非行・犯罪心理学 カウンセリング特論 精神医学 臨床心理学特殊講義Ⅰ 臨床心理学特殊講義Ⅱ	特殊実験演習 児童心理学 発達臨床心理学 非行・犯罪心理学 発達心理学特殊講義Ⅰ 発達心理学特殊講義Ⅱ	特殊実験演習 組織・集団心理学 コミュニケーション論 非行・犯罪心理学 社会心理学特殊講義Ⅰ 社会心理学特殊講義Ⅱ	特殊実験演習 生理心理学 学習心理学 認知心理学 実験心理学特殊講義Ⅰ 実験心理学特殊講義Ⅱ

選択科目(専門教育科目、共通教育科目、外国語科目、健康スポーツ科目、他学科開設科目、教職・資格関係科目の中から34単位選択)

卒業 124単位

認定心理士

精神病院、 老人・福祉施設職員 (臨床心理技術者、 カウンセラー、 心理面接員) 産業カウンセラー	公務員(心理・福祉職) 家裁調査官、法務教官、 警察官 養護・福祉施設等職員 (児童心理司、相談員、指導員)	公務員 一般企業職員 (市場調査・宣伝・広告) 産業カウンセラー 学校カウンセラー (人事管理、市場調査、 宣伝・広告、情報処理など)	大学院 臨床心理学領域 (臨床心理士養成コース・ 第一種指定) 心理行動科学領域
--	--	---	--

臨床心理士
 カウンセラー
 心理専門職
 (研究員、大学教員など)